

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2024年度達成度評価表 分野：社会貢献

		評価	理由
中期目標	地域連携、産学官連携の強化により、広く社会に貢献し、大学の社会的責任を果たします。		
中期計画	1 地域連携ネットワークの推進と拡充	A	他の教育機関、自治体、企業、その他の団体等との連携事業を新規・既存含め数多く実施し、地域社会との連携強化を図ることができている。特に、複数の連携事業において、学生に対しては成長度アンケートを、教員に対しては社会連携・社会貢献活動に関するアンケートを実施し、検証が進んでいる点は評価できる。また、地域連携プラットフォームである「大学都市神戸産官学プラットフォーム」の発起校として、運営においても重要な役割を果たすことができている。特に、全16件あるプロジェクトのうち、15件に参画しており、産官学連携の推進に寄与していることは高く評価できる。今後は、学部・部署間での連携や学内周知により一層力を入れ、事業の推進を図ることが望まれる。
中期計画	2 教育研究成果の社会への還元	B	各学部における教育研究成果の社会への還元が大いに推進できている。特に経済学部では、各世代に合わせた講座を実施、経営学部では、企業と学生の連携による調査・検討を行い、コラボ商品の販売を行うなど、地元企業と連携したアクティブ・ラーニングが実施できており、教育研究成果の社会への還元が活発な点は評価できる。また、生涯学習事業については、昨年度より大幅に実施件数を増やすことができおり、各事業の参加者の満足度も高く推移している点は評価できる。持続可能な取り組みが重要であることから今後も、既存事業の検証を行いつつ、継続的かつ発展的な各事業の実施を期待する。

<p>中期計画</p>	<p>3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実</p>	<p>B</p>	<p>学生ボランティアコーディネーターの育成に向けて、学生スタッフと職員で研修プログラムの開発を進め、活動の充実を図ることができている。また、学生スタッフが主体となった広報活動について、今年度は対面での広報も充実させ、SNS広報と並行して活動できた点は評価できる。今後は、実施した研修の点検・評価を行いつつ、引き続き、学生スタッフやボランティア参加学生の成長を踏まえたボランティア活動の充実に向けた取り組みの推進を期待する。</p>
-------------	------------------------------	----------	--

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る